

下痢



抗がん剤治療後 1～2 週間で起こる可能性があります。抗がん剤投与中の下痢はしばしばみられ時には脱水症状を引き起こす可能性があります。抗がん剤が腸粘膜を傷つけることや、白血球減少による感染などが原因に考えられます。

症状

- ・ 水のような便が昼夜を問わず出たり、時々おなかがしぶるように痛くなります。
- ・ 重篤な場合、粘液のようなものや血がまじります。

対策

- ・ 消化のよいものを食べましょう。
- ・ 炭酸飲料や食物繊維の多いもの、刺激の強いもの（香辛料、コーヒーなど）は避けて下さい。
- ・ 生野菜・生の果物は避けて下さい。
- ・ 脂肪分の多いもの、牛乳および乳製品は避けて下さい。
- ・ 少量にわけて食べましょう。
- ・ 常温にしたスポーツドリンクなどをまめに飲みましょう。
- ・ カリウムを多く含む果物などの食品（バナナ、リンゴなど）を摂りましょう。
- ・ 下腹部を温めてみましょう（しかし出血がある場合は温められません）。
- ・ 肛門周囲がただれないようにウォシュレット、微温湯などで洗浄したり、清浄綿で拭いたりしましょう。
- ・ 1日7回以上の大量下痢、腹痛が強い時、血液が混じった時、発熱を伴う時は必ず病院を受診して下さい。
- ・ 指示により抗生剤や下痢止めを服用して下さい。

